



# 赤穂こどもエコクラブだより

小学4年生から6年生までを対象に、身近な地域での自然学習や社会体験を通して、子どもたちに環境への関心と理解を深めてもらおうと、平成17年度に「赤穂こどもエコクラブ」を創設しました。

令和6年度は17名の会員で発足しました。海岸清掃や植物、野鳥の観察会、市内外の施設見学などフィールドワークを多く実施することができました。エコクラブの活動をとおして、子どもたち一人ひとりが環境について考え、問題解決に向けて、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとなりました。



## 赤穂こどもエコクラブ活動状況（令和6年度）

実施日	活動内容	講師
5月19日（日）	発足式、 第1回学習会 SDGsについて	環境課職員
6月16日（日）	第2回学習会 電気とエネルギー、施設見学	関西電力株式会社 赤穂発電所 社員
7月21日（日）	第3回学習会 坂越の海から世界を考える	菅原 真樹 氏 (NPO 法人 BRIGHT HONUA JAPAN 理事長)
8月25日（日）	第4回学習会 親子学び講座～LED ランタンづくり～	パナソニック株式会社エレクト リックワークス社 社員
9月8日（日）	第5回学習会 市外施設見学 ①伊丹市昆虫館 ②伊丹スカイパーク ③カップヌードルミュージアム大阪池田	
11月17日（日）	第6回学習会 草木や生き物のすばらしさや知恵に学ぼう	茂見 節子 氏 (ひょうご出前環境教室)
1月26日（日）	第7回学習会 野鳥観察会	鈴木 雅彦 氏
2月16日（日）	第8回学習会 活動記録づくり	環境課職員
3月16日（日）	発表会・修了式	

## 赤穂子どもエコクラブ発足式

「どんなことを勉強するのかな？」と、ドキドキ、わくわくしながら参加した発足式。一年間、一生懸命、環境について学習することを誓いました。



## 第1回学習会「SDGsについて」

講師：環境課職員

実験やかるたゲームをとおして、SDGsのターゲットの一つである「作る責任、使う責任」について楽しく学習しました。初めて会う違う学校の仲間とも交流を深めることができました。



## 第2回学習会「電気とエネルギー、施設見学」

講師：関西電力(株)赤穂発電所 社員

発電の仕組みや省エネの方法について、模型に触れながら学習しました。また、みんなで協力しながらクイズに解答し、学習の振り返りをしました。最後にはペットボトルライトを工作しました。



## 第3回学習会「坂越の海から世界を考える」

講師：菅原 真樹 氏 (NPO 法人 BRIGHT HONUA JAPAN 理事長)

坂越ふるさと海岸のビーチクリーンを実施しました。ペットボトルや食品トレー、かき養殖で使うプラスチックなど、多くの漂着ごみを回収、分別しました。ごみの特徴をみながら、どうしたらごみが減るのかひとりひとりが考え、発表しました。



#### 第4回学習会「親子学び講座～LED ランタンづくり～」

講師：パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 社員

親子で照明の仕組みや省エネ機器である LED 照明について学習しました。また、木材パーツを一つ一つ組み立て、LED ランタンを工作しました。



#### 第5回学習会「市外施設見学」

伊丹市昆虫館、伊丹スカイパーク、カップヌードルミュージアム大阪池田

伊丹市昆虫館でカブトムシや蝶の生態について学習しました。また、伊丹スカイパークで飛行機を見た後、カップヌードルミュージアムで世界に一つだけのオリジナルカップヌードルを作りました。



#### 第6回学習会「草木や生き物のすばらしさや知恵に学ぼう」

講師：茂見 節子氏

赤穂城南緑地公園で植物に触れたり、臭いをかいだり、また、先生に質問しながら、植物などについて学習しました。バッタやミドリガメ、ヌートリアなどの様々な種類の生き物も観察することができました。



#### 第7回学習会「野鳥観察会」

講師：鈴木 雅彦氏

「こっちにこんな鳥いるよ。」と子どもたち同士で声をかけ合いながら、赤穂海浜公園の湖や海にいる水鳥、木々にとまる野鳥を観察しました。遠くから見ると同じ種類の鳥に見えても、双眼鏡を使ってよく見ると違う種類の鳥がいることなど、先生から鳥の種類や特徴を楽しく学びました。



## 第8回学習会「活動記録づくり」

一年間、赤穂子どもエコクラブで学習したことを模造紙にまとめ、壁新聞を作りました。学習会で学んだことを振り返りながら、グループのみんなで協力し、壁新聞を作ることができました。



### SDGsについて

#### スーパーボールの作り方

材料 せんたんのり、食紅、水、紙コップ、割りばし、糸の具、モチペーパー

作り方  
 1. せんたんのりを好きな色の絵の具を混ぜた紙コップの中で  
 2. 1で作ったものを食紅水を混ぜる(青い紙コップは混ぜる)  
 3. コップから2でできたものを抽出してモチペーパーで乾燥させる  
 4. スーパーボールの完成

SDGsは人類が地球を住み続けられるために2030年までに達成したい17の目標のこと

#### 作る責任、つかう責任について

ものは作り出す側に責任がある(モノを作った人は作り手側)という責任がある。これをやることで環境にやさしいモノを作ることができ、地球の未来を守ることができる。ものは使った側にも責任がある。物は使った側にも責任がある。物は使った側にも責任がある。

#### 自分たちでできること

自分たちでできること、自分たちでできること、自分たちでできること。

#### 感想

SDGsについて色んなことを学びました。上に書いてある責任、つかう責任、毎日の量を減らすなどを守りました。ほくもSDGsを忘れず生活していきたい。

### 発電とエネルギー

#### 電球の種類

白熱球→1878年、シセプ・スワン(イギリス)が発明。2000年代までは世界の主流の一つだった。  
 蛍光灯→1938年に発売。シーマ・エドモンドが開発した。2017年に輸出入が禁止される。  
 LED→現在の主流電源。ライトエミティングダイオード(Light Emitting Diode)の略。3つの中で一番消費電力が少ない。赤崎勇、天の浩、中村修二によって開発された。

↓  
 LEDに変えていく必要がある。

#### 現在の課題と実情

日本は資源に乏しいため、右の回で大半を占める石炭や石油、天然ガスを70%以上輸入に頼っている。環境にもよくない。だがこの輸入依存から脱却することはできないので、自国でできる発電方法を使わなければならない。

#### 日本でもできる発電方法

水力	原子力	風力	太陽光	地熱
高いところに貯めた水を低いところへ流すことで発電する。水車を回して発電機を回す。水は再利用できる。環境にも優しい。	原子核分裂するときに熱が出る。熱を蒸気にして蒸気タービンで発電する。原子力発電はCO2を出さない。燃料は天然ウラン。燃料は天然ウラン。燃料は天然ウラン。	風が扇を回して発電機を回す。風が扇を回して発電機を回す。風が扇を回して発電機を回す。	太陽光電池で発電する。太陽光電池で発電する。太陽光電池で発電する。	地熱を利用して発電する。地熱を利用して発電する。地熱を利用して発電する。

これら一長一短があり、火力発電から切りかえるには莫大のコストがかかる。今の状況では難しい。消費電力の多い白熱球や蛍光灯から消費電力が少ないLEDに切りかえる。無意味な(コンセントにさしっぱなし)電気つけっぱなしに気を付けよう。  
 ・電気は資源であるという意識をもつ。



### 世界の海を守る!! 新聞

みなさんは「海洋プラスチックごみ」を知っていますか?  
 海洋プラスチックごみとは海に流れているプラスチックごみのことで大きなプラスチックが長い年月を経て小さくなっているマイクロプラスチックごみになります!

マイクロプラスチックが生態系に与える影響

マイクロプラスチックは、海洋生物、魚、鳥、哺乳動物、そして人間にも悪影響を及ぼす可能性があります。また、マイクロプラスチックは、人間の健康にも悪影響を及ぼす可能性があります。

“海洋プラスチックごみを減らすためにはどうすればいいかな?”

Myバック My水をつかう(使う)

まとめ(みんなの感想)

プラスチックごみの削減は、地球環境を守るためにとても大切なことです。自分たちができることを実践していきたいです。



### 問い合わせ先

〒678-0292 赤穂市加屋81番地 赤穂子どもエコクラブ事務局 (赤穂市市民部環境課)  
 TEL: 0791-43-6821 FAX: 0791-43-6892 E-Mail: kankyo@city.ako.lg.jp